

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	年輪酸素同位体比を用いた日本列島における先史暦年代体系の再構築と気候変動影響評価
研究代表者	中塚 武 (総合地球環境学研究所・研究部・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>本研究は、高精度の年代測定が可能な酸素同位体比年輪年代法を用いた先駆的な研究である。当該方法を開発し、この分野に画期的進展をもたらした応募者は、全国の埋蔵文化財調査機関等からの分析依頼に対応すべく、土器による編年の再検討や、全国的気候変動の解明を行い、酸素同位体比年輪年代法の更なる開発と公開、応用、技術移転による研究の持続を目指している。これにより人類史と環境史の総合的解明が進展し、東アジアの古気候学・考古学・歴史学等に最先端の研究成果をもたらすことが予想される。</p> <p>以上の理由から、基盤研究（S）として採択すべき課題だと判断した。</p>